

■フォントの埋め込みについて

矢嶋潤

Distiller のフォントの設定で「すべてのフォントを埋め込む」にチェックを入れても、下にある「常に埋め込むフォント」欄に指定フォントを入れないと、PDF に変換した後に、文書のプロパティで、フォントの項目を見ても、一つも埋め込まれていない事が度々あります。埋め込まれていたとしても、Courier 等の欧文フォントのみです。これは何か他の設定がいけないのでしょうか？

それとも、そもそも「常に埋め込む～」という指定をしないと、駄目なのでしょうか？

ちなみに、Windows で、Distiller6.0 にて Word のデータを PDF に変換しても、TrueType の MS 明朝や MS ゴシックすら埋め込みませんでした。

確実にフォントを埋め込むコツなどをお教え願えたらと思います。

影山 史枝

■Distiller の指定にも関わらずフォントが埋め込みできない件

PDF ファイルに埋め込み可能なフォントは、Acrobat5.0 以降の場合、CID/TrueType/OpenType 形式のフォント(フォントベンダーが埋め込み許可したフォント)です。Acrobat4.0 では、Macintosh 環境では TrueType フォントは埋め込みできませんでした。

今回のご質問の場合、Distiller の[常に埋め込むフォント]に指定フォントを入れれば埋め込まれるとのことですので、Distiller に関する設定か、元の PostScript ファイル内のフォント記述が原因と考えられます。

まず、Acrobat のバージョン、Mac 環境か Win 環境か、どのようなフォントか(フォント名・形式)、元データ作成アプリケーションおよび PostScript ファイル作成方法など、お差支えない範囲でお知らせいただくとより詳細について回答できるかと思います。

矢嶋潤

作業環境なのですが、

Mac の方は、OS9.2 で Adobe は 5.0 です。関係あるか判りませんが、ATM は 4.6 です。

PDF へは、QuarkXPress3.31 から一旦、AdobePS プリンターで PS ファイルに変換してから Distiller5.0 で行っています。プリンターはセレクトで、社内の PS プリンターを選択しています。PS 変換時は、PostScript オプションは全てチェックを外し、追加オプションは“EPS ファイル～”にチェックしています。PostScript 設定は“レベル3”でフォーマットは“バイナリ”、フォントデータは“すべてを含める”にしています。

WIN の方は、XP で Adobe は 6.0 です。

PDF へは、Office2000 の Word からプリンターを Adobe PDF にして、プロパティで Distiller の設定をしてから、直接変換しています。

影山 史枝

■Distiller の指定にも関わらずフォントが埋め込みできない件

QuarkXPress からの PDF 作成に際して、フォントの埋め込みがうまくいかない現象では、Acrobat、AdobePS、ATM 共に最新バージョンの方が良いかもしれません。

AdobePS8.8 でプリンタを仮想プリンタに設定していただくこともお勧めします。

AdobePS8.8 は、以下サイトからダウンロードできます。

<http://www.adobe.com/support/downloads/detail.jsp?ftpID=1489>

このほか、QuarkXPress3.3 の「プリンタフォントの有無」の設定によって、フォントが埋め込まれない場合があります。

QuarkXPress アプリケーションが入っているフォルダ内の XTension フォルダから「Printer Fonts」を外して「プリンタフォントの有無」機能を無効にして、同じ処理を行ってみてください。

もしデータが 1 ページものでしたら、ファイルメニューの「EPS ファイルでページ保存」機能を利用してもフォントが正しく埋め込まれると思います。

■Windows 環境での MS 明朝・MS ゴシックの埋め込みについて

Windows の場合、AdobePDF (プリンタドライバ) の設定に代替フォント表というのがあり、デフォルトでは、MS 明朝・MS ゴシックがリュウミン L-KL・中ゴシック BBB に代替されていますが、これを[代替しない]設定に直します。また、フォントのダウンロード方法として、[ソフトフォントとしてダウンロード]するか[Type42 形式]でダウンロードすることが必要です (Acrobat5.0)。

これらについては、Adobe サポートの下記サイトでも方法をご紹介しますので、参考にしていただくと良いと思います。

<http://support.adobe.co.jp/faq/faq/qadoc.sv?222071+002>

■Windows 環境での MS 明朝・MS ゴシックの埋め込みについて WindowsXP の AdobePDF プリンタドライバの設定は、プリント画面でプリンタ名「AdobePDF」を選択し、[プロパティ]ボタンをクリック後、レイアウトタブまたは、用紙/品質タブをクリックして、[詳細設定]ボタンをクリックすると、「AdobePDFConverter 詳細オプション」ダイアログが表示されます。

この中の「TrueType フォント」を[ソフトフォントとしてダウンロード]に変更し、PostScript オプションの「TrueType フォントダウンロードオプション」を[NativeTrueType]か[アウトライン]に変更します。

矢嶋潤

親切な回答、どうもありがとうございます。

影山 史枝

矢嶋様のご質問に関連して補足させていただきます。

QuarkXPress4.1J までは、Acrobat Distiller を使用して PDF を作成します。Quark データを、いったん PostScript か EPS ファイルにして Distiller のジョブオプション設定に応じて PDF が作成します。

最新の QuarkXPress6.5J では、JAWSPDF (JAWS RIP の PDF 解析エンジン) が搭載され、Distiller がなくても PDF が生成できるようになりました。

さて、QuarkXPress からの PostScript 書き出しでは、プリントコマンドを利用しますが、このプリント時の QuarkXPress の挙動が PDF 作成時のフォント埋め込みに支障をきたす原因となっています。

QuarkXPress4.1J のプリント画面の[フォント]タブや、3.3J の補助メニューの[使用フォントの有無]コマンドは、ファイル内で使用しているフォントが、出力機側に搭載されているかをチェックする機能です。

出力機側にフォントが搭載されていれば(出力機側と交信して[フォント有]という表示にすれば)、QuarkXPress は、出力機へアウトラインフォントデータを送信しません。出力機側にフォントが搭載されていても、使用フォントの有無コマンドの画面で、[フォント無]となっていれば、マシン内のフォントをビットマップデータ(ラスターライズ)にして送信してしまいます。これによって、出力時にフォントがギザギザになる現象が発生します。

つまり、PDF のための PostScript 生成でも同様の動きをしてしまいますので、このフォントの有無をつかさどっている QuarkXPress の XTension「PrinterFonts」をはずして処理することで、使用フォントを PostScript 内に含めるようにします。

QuarkXPress のファイルメニューにある[EPS でページ保存]コマンドは、この[プリンタフォントの有無]に関係なく処理していますので、アウトラインフォントが埋め込まれるようになります。

■フォントが埋め込みできない件 (PostNo.2)

Distiller のフォントタブ内で、フォントリストに表示されているフォントでも、常に埋め込むフォント欄に追加しないと埋め込まれないという現象について、Adobe サポートで確認したところ、後からインストールしたフォントの場合、このような現象になることがあるとのことでした。

対処としては、後からインストールしたフォントは、常にインストールするフォントとして、登録しておいてくださいとのことでした。

矢嶋潤

指示にあった通り、QuarkXPress の「PrinterFonts」をはずし、AdobePS8.8 にて PS を作成後、Distiller5.0 で PDF 変換、エンベットを試みましたが、以下のようなメッセージが出て、いくつか、埋め込めないフォントがありました。これは埋め込み許可がされていない、という事なのでしょうか？

メッセージ:

```
%%[ Warning: FutoGoB101-Bold not found, using Font Substitution. Font cannot be embedded.]%%
```

```
%%[ Warning: FutoMinA101-Bold not found, using Font Substitution. Font cannot be embedded.]%%
```

「A CID 太ミン」と「A CID 太ゴ」が埋め込めていないようです。

影山 史枝

「A CID 太ミン」と「A CID 太ゴ」という名称ならば、埋め込みが許可された NewCID フォントだと思います。

そのフォントが使用されている単一ページのみ、EPS ファイルでページ保存コマンドで保存して、Distiller で PDF 変換してみて、どうでしょうか？

また、これらのフォントは、最初のご質問にあったように、ジョブオプションのフォントタブで、[常に埋め込むフォント] 欄に入れれば、埋め込まれるのでしょうか？

矢嶋潤

まず、単一ページのみで EPS 保存はやってみました。

“常に埋め込むフォント”の方はやってみた、つもり、でした。

(ちなみに、まだ一度も埋め込みは成功していません。。)

Distiller の“フォント”の設定を確かめてみたら、“埋め込み”のリストに FutoMinA101-Bold と言うのがなく、代わりに FutoMinA101Pro-Bold があったので、こちらを“常に～”に入れていました。(太ゴシックの方は、該当しそうながありませんでした)

PDF に変換後、文書プロパティで埋め込み状況をチェックすると、「オリジナルフォントが FutoMinA101-Bold 種類が Type 1(CID)、エンコーディングが Identity-H、実際のフォントが FutoMinA101-Bold 種類は不明」となって、埋め込めていなかったわけなのですが(これは EPS 保存でも PS でも同じでした)

フォントの場所を追加しようにも、システムフォルダ内のフォント以外に、何処を参照してよいのか分かりません。もし、出来れば、そのあたりを御教え願えないでしょうか？ 乱文につき、申し訳ありません。

影山 史枝

矢嶋様

現在お使いのマシン環境を整理すると次のようになりますね。

■マシン環境: MacOS9.2/ATM4.6/QuarkXPress3.31/AdobePS8.8

■フォント: A-CID 太ゴ B101/A-CID 太ミン A101/A-OTF 太ミン A101

PDF に埋め込みするフォントは、システムフォルダ内のフォントフォルダ内に入っていることが条件となります。

なお、Distiller のフォントリスト内にあったという「FutoMinA101Pro-Bold」は、OpenType フォントです。これは、QuarkXPress3.31 側でサポートしていませんので、ドキュメント中では使えないと思います。そのため、常に埋め込むフォント欄に入れても、ドキュメントから書き出した PostScript 内のフォント名 (FutoMinA101-Bold) と異なりますので、埋め込まれません。

エラーメッセージの内容としては、次のように解釈できます。

QuarkXPress から書き出した PostScript ファイル内には、CID の太ゴと太ミンの情報が書き込まれていて、Distiller で PDF 変換する際に、システムフォルダのフォントフォルダ内で管理されている CID フォント(スーツケースアイコンと丸漢アイコンのセット)を探しにいき、そこに該当のフォントファイルが見つからず、エラーメッセージが表示されている状況ですね。

場合によっては、オリジナルの ATM フォントをインストールしなおすのが適切かもしれませんね。

基本に戻って、下記の Adobe サポートの資料を参考にして、もう一度試していただいても良いかもしれません。

<http://support.adobe.co.jp/faq/qadoc/AJ25.nsf/10078dba5304a487492569690008402a/fd90dc511dc618a949256b390025c05b?OpenDocument>

QuarkXPress 上では、「A-CID●●」というフォント名でフォントを指定できるのですよね。

ほかのモリサワの CID フォントは、埋め込みはできるのでしょうか？

テスト的に、QuarkXPress の新規ファイルに単純な文字を入力して、御社保有のモリサワ CID フォントをいくつか指定して、すべて埋め込みできるのかをご確認いただき、埋め込みできるものとできないものがあるのか、すべて埋め込みできないのかなど確かめていただくと良いかもしれません。

■Illustrator 等と PDF の関係について

亀崎 勝史

windows にて PDF を経たワード・エクセル・パワーポイント等の Illustrator ファイルへの変換を主に行っております。その際に、起こる困ったことについて、対処方法があればお聞きしたいと思い書き込み致します。

1. Illustrator で PDF ファイルを開いた際に、

『「～.pdf」には再解釈された PDF オブジェクトが含まれています。

ファイルが破損している可能性があります。』

という表示がでて、各種グラデーション・グラフの色・網などが飛んでしまいデータが存在しないことが多々あります。回避する方法はありますでしょうか。

PDF の時点では正しく表示されております。

2. 画像ファイル付きの書類(ワード等)を PDF にした際に画像が細切れ(縦に数ドット単位で切られることもある)し、読み込み・Illustrator 展開時の表示などが非常に遅くなるという現象がありますが、回避策はありますでしょうか。

現象としては Illustrator8 形式で保存をかける際にアピアランスの維持を選択した時の画像が分割される様子の細かい物という様子です。PitStop 等で確認したところ、PDF ファイルの時点で細かく切れているようです。

3. また、windows 環境下にて、富士ポップ、恋文ペン字等一部フォントが扱えない、PDF ファイルを作れないことがあります。(同様に Illustrator でも、フォントを認識しない問題となっていました。)

Illustrator の場合は、通常インストールした場合【c:\Program Files\Common Files\Adobe\TypeSpt】にあります「AdobeFnt.lst」「Adobefnt05.lst」(前者は Illustrator8、後者は 10)を開いて【FontName:富士ポップP】となっているのを検索の後【FontName:fuji-popp】など半角英数(1バイト文字)で他のフォントとかぶらない文字にすることで読み込めましたが、Distiller では書き出せず、エラーが出てしまいます。同じような対策などで Distiller 書き出しができるようになりますでしょうか。また、そうでなくても何らかの対策はありますでしょうか。

4. ちょっとしたことなのですが、Acrobat で開いている PDF ファイルから選択し、コピーして Illustrator にてペーストする方法はありますでしょうか。

使用環境は、

Illustrator10

Acrobat5.5

を使用しております。

また、Acrobat5.5 のプラグイン関係としましては、PitStop、QI+を使用しております。

影山 史枝

1. Illustrator は、バージョンが新しいほど、PDF 解釈が優れているように感じます。現在お使いの Illustrator10 ではなく、CS や CS2 を保有していらっしゃいましたら、上位バージョンでもお試ください。
ほかには、PDF 上で TouchUp ツールを利用し、オブジェクトとして、Illustrator 側に持ってくる方法があります。これは、PDF 上の再現で、すでにおかしい場合には、あまり有効ではないかもしれません。
元の Office データがある場合、Office 製品のうち、Excel のみに有効な方法としては、グラフなどを選択し、shift キーを押したまま、編集メニューの[画像としてコピー]を指定すると、画面・用紙に合わせたオブジェクトとしてコピーできます。これを Illustrator 側に持っていくと、通常の Illustrator オブジェクトとして編集できます。ラインは、四角形になってしまうのですが、グラフなどの再編集が必要な場合には、有効です。
Office の場合、画面描画情報から PostScript を作り、それを元に PDF を作っているため、限界があるように思います。
2. PDF の時点で細切れになっているので、それ以前で対処するしかないと思います。もし画像データも別途お持ちでしたら、Office 上で、オブジェクトとして挿入してみてどうなるかお試ください。
図として挿入すると、データにもよりますが、Office 用の WMF になるか BMP になっているように思います。オブジェクトとして挿入した場合、元のデータ形式を保持しているように感じます。オブジェクトとして挿入し、リンクチェックをかけておくことも試してみてください。
3. 富士ポップなどのフォントは、フォント名が日本語で管理されています。Illustrator の仕様としては、フォント名を PostScript 名で管理しているため、フォント名を認識できない現象が発生します。
Distiller では、フォントタブ上で認識できていれば、埋め込みができるのですが、Illustrator 読み込み用と Distiller ほかのソフトでの認識のための読み込み用に別管理する必要があると思います。
4. Acrobat の TouchUp ツールを利用して、Illustrator や Photoshop 側で、オブジェクトや画像を編集することができます。PitStop は、Acrobat 上で直接編集するツールですので、パス単位の微調整ならば PitStop で処理し、ページ単位やオブジェクト単位に Illustrator 編集したい場合には、TouchUp ツールを使う方法をお勧めします。

亀崎 勝史

2. に関しましては、私がお客様からデータをいただく時すでに図が挿入又は張り込まれ、張り込み又は挿入された画像ファイルは附属しない状態であることが殆どの為、PDF の作成時の設定などで回避できればと思い質問した次第でした。
4. に関しましては、1. の回避策として、グラデーション部分などを解釈をさせずに直接コピー & ペーストできるのかと思い、質問した次第でした。

また、1. に関してましては現在 10 以上のバージョンがないので入手してからやってみたいと思います。

影山 史枝

■ Acrobat から Illustrator へのコピー・ペースト

画像としてのみコピー・ペーストができます。

Acrobat5.5 の範囲選択ツールかスナップショットツールで範囲指定したデータを Illustrator10 にペーストできます。Illustrator オブジェクトとしてのコピー・ペーストはできません。

■コピー・ペーストの裏技(?)

PDF 内のデータをコピーして、別ソフトへ貼り付ける機能は従来よりありますが、PDF 内のデータをコピーし、MS Office 製品に配置する際、[形式を選択して貼り付け]を選択し、使用目的に応じて、ファイル形式を変えて貼り付けると、有効な場合があります。

今まで、この手法に気づいていなかったため、使う機会がありませんでしたが、画像などの場合、BMP・GIF・JPEG などの選択ができ、図版の場合、BMP・WMF などの選択ができますので、その後の処理によっては、有効な場合もあるかと思いました。

たとえば、WordArt などを含む PDF データ上で、WordArt 部分をコピーし、Word や PowerPoint 側に貼り付ける際に、BMP/GIF/JPEG として貼り付けることができれば、そのデータを Illustrator 上で再配置したりすることも考えられるかと思った次第です。

■PDF 変換後の CMYK の問題について

遠藤 幸之

MS Office(2000 or XP)から PDF 作成を行い、Acrobat(ver7)にて色変換を行うと、PDF の墨色の扱いに下記のような現象が発生します。

墨 (RGB=0) の文字や描画オブジェクトが、Acrobat の色変換処理だけで BK100 (オーバープリント付き)にするための適切な変換方法や、作成方法はあるのでしょうか？

■MS Office からの PDF 作成で発生する現象

1. 墨文字 (RGB=0) や、エクセルのグラフ線 (RGB=0) は BK100 の色に変換されるが、抜き合わせになっている。
2. ワードアートなどに墨 (RGB=0) の色が指定されていても、PDF で色変換を行うと CMYK4 色に分解されてしまう。

■使用 ICC プロファイル

Japan Color 2001 Coated

■作業環境

Windows XP

Adobe CS2

MS Office XP

影山 史枝

MS Office からの PDF 作成で、墨 (RGB0) の文字・描画オブジェクトは、Acrobat 7.0 のみの機能で、BK100 オーバープリントにすることはできません。

Acrobat プラグインソフトの PitStop Professional には、墨文字のオーバープリント機能があります。

下記サイトにデモ版がありますので、お試しください。

Acrobat 5.05/6.0 用ダウンロード(ソフトウェアトゥー)

https://www.swtoo.com/special/update/pitstop6_win/

Acrobat 7.0 用ダウンロード(Enfocus Software)

<http://www.enfocus.com/products/download.php?nav=3&navitem=10&nr=3>

PitStop をインストールすると、Acrobat のウインドウメニューに[PitStop グローバル変更を表示]というコマンドが表示されます。このコマンドを選択してグローバル変更ウインドウを表示し、[プリプレス]タブをクリックすると墨文字をオーバープリント]や[白抜き文字をロックアウト]、[線幅変更(極細線のポイント変更)]などの印刷用 PDF に必須の機能が用意されています。

...

Acrobat 7.0 では、色変換機能および Distiller のジョブオプションで、RGB を CMYK に変換することができるようになりましたが、墨文字などが抜き合わせになってしまいます。

Acrobat 7.0 の色変換機能では、Office の黒(自動も含む)は、次の 2 つの状態しか指定できません。

(1) Acrobat 7.0 色変換ダイアログ内の[黒のオブジェクトを維持]チェックにより、黒 100%に変換できるが、抜き合わせになる。

(2) Acrobat 7.0 色変換ダイアログ内の[黒のオブジェクトを維持]チェックオフにより、黒は、CMYK4 色に変換されてしまう。

Distiller 7.0 のジョブオプション: カラー設定では、PDF 変換時に CMYK にすることができるようになっています(カラーマネージメントポリシー: すべて CMYK 色に変換)。

この場合は、墨文字は、抜き合わせになり、図形書式の塗り・線の黒は、CMYK4 色になりました。

このほか、RGB カラーのまま PDF を作成し、InDesign CS/CS2 に配置後、PDF 書き出しすると CMYK になりますが、これも抜き合わせになり、オーバープリントはされません。

PDF を Illustrator で開き、ブラックオーバープリントにすることはできますが、ページ物の場合には、作業工数が多くなるため、おすすめできません。

残念ながら、現状、既存環境で思いつく方法は、Illustrator くらいしかありません。PitStop の機能の範囲や Acrobat 製品の仕様については、さらに確認をしてみます。

このほかでは、Windows データ専用システムがあります。

これは、システム製品のため(結構高額になります)、入稿率によっては、あまりおすすめできないのですが、機能としては、優れていますので、ご紹介させていただきます。

WIN-OMNIImage(日本イーエム)

<http://www.amjapan.com/product/p-Win-OMNIImage.html>

AVANAS MultiStudio Office パッケージ(大日本スクリーン製造)

http://www.screen.co.jp/ga_dtp/product/avanas_ms/avanas_pack.html

WIN-OMNImage は、RIP 内蔵と考えた方がよい製品で、RGB 各データ部分を LW と CT に変換するタイプです。これは、当該データなどの RGB を CMYK に変換したり、オーバープリントはできたと思います。

■MS Office 製品からの PDF 作成で、オブジェクトデータが正しく認識されないという現象について
WordArt、オートシェイプなどのデータが正しく PDF 変換できない件について確認したところ、Adobe サポート側にも、同様の声が多く寄せられており、Microsoft 側との調整を要するとの認識を持っているようです。
Office 製品からの PostScript 書き出しが正しく書き出せていない場合、正確な表現ができないとのことでした。これは、もともと Office 製品が DTP 市場向けではなく、当初パーソナルユースレベルでの使用を考慮して開発したため、描画に関して PostScript 記述で表現することが完全にはできないということらしいです。

■墨文字のオーバープリントの件(PostNo.11)

PDF 変換エンジン(Distiller/PDFLibrary など)では、墨文字のオーバープリントはサポートしていないそうです。

WIN-OMNImage(日本イーエム)に関する追伸です。

OMNImage では、MS Office データを、ラスター方式(データをラスター化して Photoshop データに変換する)か、ベクター方式(データをベクトル化して Illustrator データに変換する)で変換します。

両方式とも、Word Art 中の黒部分も含め、黒部分は墨 1 色になるそうです。

ベクター方式では墨ノセになりますが、ラスター方式では墨ノセにはならず、ヌキの状態でも保存されます。

ただし、ベクター方式でデータを変換した場合、Office 等のデータで「透過(透明)」機能を使ったオブジェクトがある場合には、変換の工程で「透過(透明)」オブジェクトを解析できずに斜線の集まりのようになってしまうそうです。このような部分は、ラスター方式にすれば、問題なく変換できるとのことでした。

さらに、このように変換した OMNImage データを PDF として保存することができるそうです。

以上、製品仕様に関する確認結果です。

■Indesign、一太郎と PDF の関係について

東京文久堂 田中

■Illustrator で制作したファイル(eps)を InDesign に貼り込み「データ書き出し」(Press)で PDF を生成しましたが、文字化けが発生してしまいました。

■一太郎のファイルを distiller(PressQuality を選択)から PDF を生成する際、飾り罫が薄くなって生成されてしまいました。。

■制作環境

Windows XP Professional

InDesign 2.0.2

Illustrator 10.03

Acrobat 6.0

一太郎 10

影山 史枝

■InDesign からの PDF 書き出しで文字化けが発生した件

Illustrator からの EPS 保存オプションで、[フォントを含める]にチェックをして保存したファイルでしょうか？

文字化けが発生した部分の使用フォントは何ですか？

EPS ファイルは、PDF を作成したマシンで制作したものでしょうか？

フォントは埋め込み可能なフォントでしょうか？

文字化けが発生した箇所は、一部ですか？全部ですか？

Acrobat で問題の PDF を開き、[ファイル]メニュー>[文書のプロパティ]を選択して、[フォント]タブをクリックした際、PDF 内で使用されているフォントおよび埋め込みか否か、代替表示に使われているフォントが表示されます。

この表示内容の中で、文字化け(フォント名称)などは発生していますか？

同じデータを InDesign から PostScript 書き出しし、Distiller で PDF にしても同様でしょうか？

■一太郎ファイルの飾り罫線が薄くなる現象

一太郎の印刷コマンドのプリンタで[AdobePDF]を選択して、一太郎の印刷プレビューでは正しく表示されていますか？

印刷コマンドの[詳細]タブの[ポストスクリプトプリンタ]欄では何を選んでいますか？

私が使用しているのは、一太郎 2004 なのですが、次の項目があります。

- ・GDI で出力
- ・ポストスクリプトコードで出力
- ・PDF に適した形式で出力

この中の、[PDF に適した形式で出力]または[ポストスクリプトコードで出力]を選択した状態でも同じ結果になるかお試しください。

一太郎側での PDF 用の PostScript 書き出しに際しては、上記の点のみがチェック事項です。

それ以外は、Acrobat 側での制御となります。

■その他

影山 史枝

今まで、この手法に気づいていなかったため、使う機会がありませんでしたが、画像などの場合、BMP・GIF・JPEG などの選択ができ、図版の場合、BMP・WMF などの選択ができますので、その後の処理によっては、有効な場合もあるかと思いました。

たとえば、WordArt などを含む PDF データ上で、WordArt 部分をコピーし、Word や PowerPoint 側に貼り付け

る際に、BMP/GIF/JPEGとして貼り付けることができれば、そのデータを Illustrator 上で再配置したりすることも考えられるかと思っただ次第です。

■PDF データでの入稿方法について

通信を利用して PDF データで入稿される場合、ZIP 圧縮して送信することをお勧めください。

PDF のデータは、ZIP 圧縮にしても圧縮率はあまり変わらないため、あまりやっていなかったのですが、通信上、PDF のまま送信すると、データが破損することがあるそうです。

ZIP 圧縮にして送信した方がデータの破損はないとのことでした。

■PDF 内のデータ破損について

市販の PDF 作成ツール(いきなり PDF などの商品)で変換した PDF の場合、Acrobat 側で開いたり、出力すると、予期しないデータ破損部分が含まれていることがあるようです。

以上、これまで各所へ確認したり、検証したりしてわかったことです。

参考になれば、幸いです。